



美 原 区

ま ち 歩 き

魅 力 発 見

マ ッ プ 



美原区HP



美原区役所  
インスタグラム



美原区長X  
(旧Twitter)



地域SNSアプリ  
ピアッツァ

# 美原区まち歩き魅力発見マップ

## 美原区 全区



### 〈まち歩きマップ〉

美原区では、区民自らが、「美原のまちをこうしたい」と思うまちの将来像を描き、その実現に向けて互いに協力しながらまちづくりに取り組んでいくことを目的に「美原 未来・まちデザインひろば」が設立され、魅力あるまちづくりを推進してきました。

この冊子は、デザインひろばのメンバーが、たくさんの方に美原区のまちを歩いて、美原の魅力を知ってほしいと願い、各地区のまち歩きマップを一つにまとめたものです。

### 北余部・南余部 ⑬-⑭

### 上黒山・阿弥 ①-②

### 平尾 ⑩-⑫

### 菅生 ⑦-⑧

### さつき野・平尾 ⑤-⑥

発行：堺市美原区役所企画総務課  
 〒587-8585 堺市美原区黒山 167-1  
 TEL 072-363-9311 FAX 072-362-7532  
 電子メール mikisou@city.sakai.lg.jp  
 配架資料番号 1-C3-26-0087  
 令和8年 6月発行



1km

本冊子の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号平25情使、第17号)

なお、コース内で発生した事故等については、一切責任を負いません。



# 上黒山・阿弥地区のまち歩き魅力発見マップ

いとうしずお ゆうばえ しひ

## 伊東静雄「夕映」の詩碑

昭和22(1947)年に刊行された伊東静雄の詩集「反響」の中の一つ、「夕映」という詩を刻んだ詩碑で、書は原田凍谷氏によるものです。堺市内にある伊東の詩碑は、この美原図書館前と旧堺燈台前の2カ所です。伊東の詩歌は萩原朔太郎から賞賛され、三島由紀夫らに大きな影響を与えました。

たもりてい

## 田守邸

黒山に代々続く伝統的な農家建造物です。

美原には、現在造り酒屋はありませんが、かつては上黒山の「都の春」、平尾の「酔醇」、南余部の「梅林」の3軒の造り酒屋がありました。そのうちのひとつ「酔醇」の酒蔵が敷地内に移設されています。

くうえんじ

## 空圓寺

真言宗の寺院で、本尊は日を限って祈願すると願いが叶えられるといわれる願掛日限菩薩です。

約30軒の檀家がしっかりと守っておられ、信仰の深さがうかがえます。

境内には水かけ地蔵やお摩り尊があります。

きゅうくろやまゆうびんきょく

## 旧黒山郵便局

電話の交換機が置いてありました。現在も郵便局窓口の名残があります。庭にある樹齢300年のクスノキは堺市指定保存樹木に指定されています(非公開)。

旧街道を抜けて旧黒山郵便局からはじまる歴史的街並みは、堺市景観賞(平成17年)を受賞しています。

ふなといけこうえん

## 舟渡池公園

舟渡池は美原区内最大のため池です(約7ha)。名前の由来は、かつてこの辺り一帯が湿地帯で交通手段として舟を利用していたことだそうです。

舟渡池公園(約2ha)は、昭和57(1982)年、旧美原町の最初の都市計画公園(総合公園)として整備されました。

あみだじ

## 阿弥陀寺

境内には、元禄3(1690)年の宝篋印塔が建っています。また、カヤの木は堺市指定保存樹木に指定されています。

寺伝によると境内にある「ますほの薄」は、平安時代後期の歌人でもあった登蓮法師が「秋毎に 穂に出てまねけ 糸薄 くる人ごとの かたみともみん」と詠んだ糸薄だと言われます。





真福寺公民館

コンビニ

真福寺公園

今池  
(菅池)

廣国神社

座王藏池

寺池

美原北小

不動明王

大保ふれあい広場

美原ふる里公園

大保

医院

堺市立みはら歴史博物館  
(M・Cみはら)

美原北小南

旧跡鍋宮大明神碑

美原北こども園

古代米  
田んぼ

花田池

古代米  
田んぼ

黒姫山古墳  
ガイダンス施設

市立史跡黒山姫古墳  
歴史の広場

黒姫山古墳

黒姫山古墳前

下黒山

廣国神社南

下黒山地区  
多目的ホール  
下黒山公民館  
下黒山地区会  
管理広場

蓮光寺

聖福寺  
(黒山廃寺)

下黒山  
ちびっこ公園

コンビニ

黒姫山北

下黒山

黒姫山

太井東



100m

# 大保・下黒山地区のまち歩き魅力発見マップ

## さかいしりつ れきしはくぶつかん えむ しー 堺市立みはら歴史博物館(M・Cみはら)

黒姫山古墳(国指定史跡)や中世の技術者集団「河内鑄物師」など、美原の歴史を紹介する施設です。黒姫山古墳に副葬されていた24領という鉄製甲冑(堺市指定有形文化財)の数は、一つの古墳から発見された数としては日本一を誇ります。河内鑄物師は、この大保地区を一拠点に全国各地へ赴くなどし、東大寺大仏の再建(中世)や鎌倉大仏の鑄造にも関わった鑄造技術者集団です。

## ふどうみょうおう 不動明王

昔、村の古老が座王蔵池から流れる川に架けられている石の橋に牛を通そうとしたところ、恐れて川に落ちてしまいました。高僧に見せたところ不動明王の神霊が寄りついているということで、八坂神社に御堂を建ててお祀りしたものがこの不動明王です。その後は牛が落ちることもなくなったと伝えられています。毎年8月27日を例祭としています。

## ひろくにじんじや 廣國神社

広国押武金日命(安閑天皇)を祀っています。また、明治末期の神社合祀により、八坂神社(大保地区)、菅原神社(今井)などの鎮守も合祀しています。慶安元年(1648)作の蔵王権現立像が祀られています。

金属の生産に関わるとされる古社で、神社の南側には奉納された直径約140cmの鑄物製大鍋があり、「ナベと背比べ」ができます。

## きゅうせきなべみやだいましょうじんひ 旧跡鍋宮大明神碑

鑄物師の始祖とされる石凝姥命、天兒屋宿命をはじめ、初めて鉄の鍋を作ったとされる鍋子丸を祭ったもので、もとは烏丸大明神と呼ばれていたようです。大保地区は平安時代末以降、数多くの鑄物師集団で栄えたと言われ、「大保千軒」の呼称が伝わっています。多治比氏が鑄銭司の長官に任ぜられて和同開珎を鑄造し、その功績により賜った官位が「大保」で、このことが地名となったという説もあります。

## くろひめやまこふん 黒姫山古墳(国指定史跡)

美原区内に残る唯一の古墳で、5世紀中頃に築造された前方後円墳です。周囲には濠が巡らされ、その外側を周庭帯が取り巻いているほか、周辺には6基の古墳があったと考えられます。

併設するガイダンス施設では、発掘調査の様子などをビデオで見ることができます。また、広場内では前方部の竪穴式石室や埴輪列、前方部墳丘上には埴輪列と葺石の一部を実物大で復元しています。





小平尾東

さつき野北公園

ななかよし小道

かいづか公園

山田池

さざんか公園

さつき野西  
コミュニティホール

さつき野西1

さつき野西2

さつき野センター北

美原さつき野郵便局

さつき野東1

スーパー

さつき野センター前

平尾窯跡群・平尾城土塁跡

さつき野公園

希望の小道

さつき野東集会所

美原ひかしこども園

さつき野コミュニティセンター

さつき野学園

さつき野学園  
さつき野小  
さつき野中

ふれあいの小道  
つばき公園

小平尾川

たたら橋石碑

さわやか小道

さつき野運動広場

やすらぎの小道

さつき野西3

さつき野運動広場

さつき野公園前

さつき野公園前

さくら公園

さつき野中央

さつき野東2

いしこの小道  
ばら公園

平尾城跡

調整池



100m

# さつき野・平尾地区のまち歩き魅力発見マップ

りょくどう

## 6つの緑道

さつき野には、「ふれあいの小道」「やすらぎの小道」「なかよし小道」「希望の小道」「いこいの小道」「さわやか小道」の6本の緑道があります。

高木と低木が連なる小道は、隣接する住宅の垣根と融け合っています。鳥やチョウが羽を休め、季節の花も咲いています。高木と低木の変化を楽しめる散歩道です。

こうえん

のこうえん

## 6つの公園とさつき野公園

緑道と同様に、さつき野地区には、「さつき野北公園」「かいづか公園」「さざんか公園」「さくら公園」「ばら公園」「つばき公園」と名付けられた6つの公園があります。

また、「さつき野公園」は、昭和58(1983)年に開発した公園で、面積約1.9haの近隣公園です。公園内には小平尾川が流れています。

ひらおかまあとぐん

ひらおじょうどるいあと

## 平尾窯跡群・平尾城土塁跡

羽曳野丘陵から西へ突き出た地形を利用して、その上に段状に粘土を積み上げて3段に構築した幅約25m、高さ約4.5mの土塁が設けられました。また、土塁の頂部には土塀が築かれていたことが調査で分かりました。平尾城の北の守りを固める土塁の跡と言われ、14世紀前半のものと考えられます。さらに下層からは、6世紀後半から7世紀前半頃の須恵器の窯跡が16基発見されました。

ひらおじょうあと

## 平尾城跡

南北朝時代の動乱期、楠木正成が元弘2(1332年)に平尾城を築きました。羽曳野丘陵を背に北西方向が開けた台地上にあり、前面に小平尾川が流れる、土塁を築いた城でした。早くに開発されたため、詳細は不明です。

「後太平記」などによると、この周辺は、楠木正成の三男正儀やその子正勝が山名氏清と戦った古戦場とされています。

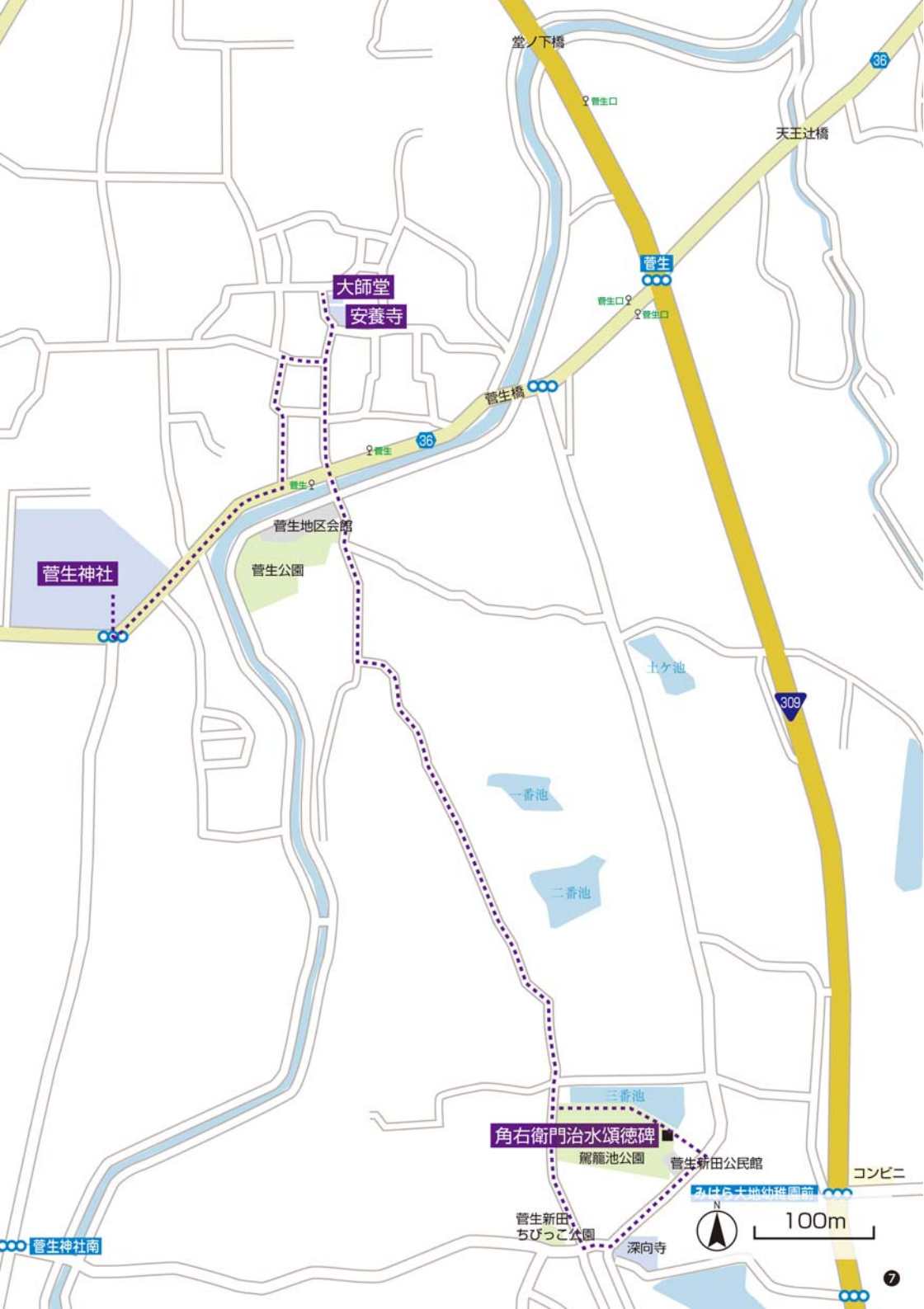
ばしせきひ

## たたら橋石碑

この周辺に鋳造師の遺跡が発掘されました。鋳造に関係があった施設があった名残と伝えられています。

「たたら(踏鞴)」とは、鋳造過程において使用されていた足踏み式の装置のことです。金属を溶解する際に、溶解炉に風を送るためのものでした。連続して操作する必要があり、単純ですが重労働だったようです。





# 菅生地区のまち歩き魅力発見マップ

## すごう まちな 菅生の街並み

植木産業が盛んな地区で、地区の至る所に植木が植えてあります。高度経済成長期には、高速道路や万博会場の整備で植木の需要が多くありました。家々の庭木も立派な植木が多く、緑が豊かな街並みです。

また、平尾小学校の校歌には「植木の緑、菅生の社」という歌詞があります。



## すごうじんしゃ 菅生神社(堺市指定有形文化財)

菅原道真公と天児屋根命を祀る延喜式内社です。現在の本殿は、万治4(1661)年に建立された大型の一間社春日造で、堺市指定有形文化財に指定されています。境内にある池「菅澤」のほとりでは、道真公がこどもの姿でこつぜんと誕生されたという描写があったことから、菅生天満宮と称するようになりました。



## あんようじ 安養寺

常照山安養寺と号し、宗派は浄土真宗本願寺派です。

菅生村西本願寺惣道場としてあったところ、正徳2(1712)年に安養寺の寺号と木仏本尊が、京都にある浄土真宗本願寺派の本山である本願寺(通称は西本願寺)から下付されたことが記録に残っています。



## たいしどう 大師堂

菅生寺の敷地内にあり、弘法大師と薬師如来を祀っています。

元々、薬師如来は昔の会館の中に祀られていたそうなのですが、古くなった大師堂を建て替える際に、一緒に祀ることになったと伝わっています。

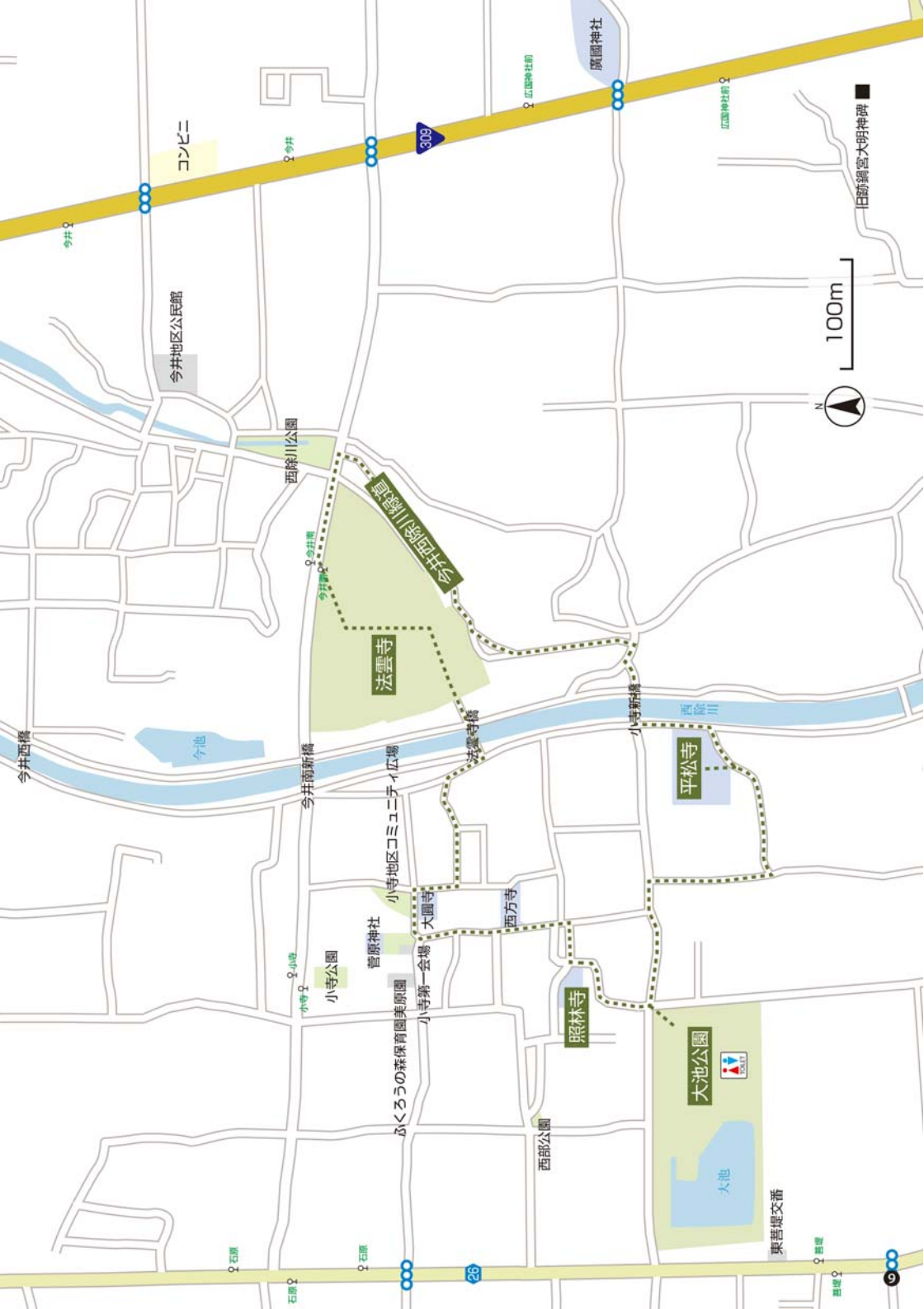
大師堂の前に「弘法大師」と「薬師如来」の名前が彫られた石碑が残っており、当時の面影がしのべれます。



## かくえもんちすいしょうとくひ 角右衛門治水頌徳碑

江戸時代末期、干ばつに苦しむ村人の窮状を見かねて、菅生村の角右衛門は禁令を犯して三番池を掘削しました。村人たちは、そのことを口外しなかったようですが、やがて幕府の知るところとなり、角右衛門は捕えられ、江戸へ送られて刑死したと伝えられています。当時の美原地域は水争いが絶えなかったのではないかとされています。





コンビニ

今井地区公民館

西降川公園

今井地区長谷川野原

法雲寺

今池

今井南新橋

小寺地区コミュニティ広場

大圓寺

西方寺

小寺小

小寺公園

菅原神社

小寺第一会場

ふくろうの森探検園美術館

照林寺

平松寺

西降川

大池公園

大池

東菩提交番

西部公園



100m

旧新宮大明神跡

309

26

9

# 小寺・今井地区のまち歩き魅力発見マップ

へいしょうじ

## 平松寺(堺市指定有形文化財)

医王山平松寺と号し、白河・鳥羽・後白河天皇の勅願寺と伝えられています。宗派は高野山真言宗です。本尊は周丈六(約1.8m)の寄木造の薬師如来坐像で、堺市指定有形文化財に指定されています。平松寺周辺には、長和年間(1012~1017年)に三条天皇の眼病平癒を祈願して建造された長和寺があったと伝えられていて、平松寺の前身が長和寺ではないかと考えられています。



ほううぜんじ

## 法雲禅寺(堺市指定有形文化財)

大寶山法雲禅寺(法雲寺)と号する黄檗宗の寺院で、開山は慧極道明禅師です。大雄宝殿には本尊釈迦如来、向かって右に薬師如来、左に阿弥陀如来、背後に三千仏を祀ります。前身は弘法大師が開基の紳福山長安寺という真言宗の寺院であったと伝わります。約1万坪の境内にある山門・天王殿・大雄宝殿・開山堂・方丈・鎮守堂が堺市指定有形文化財に指定されていて、建立当初の伽藍構成をよく残しています。4月下旬頃には、境内一円のツツジが見ごろを迎えます。



いまいにしよけがわりよくどう

## 今井西除川緑道

西除川跡地を利用した、約360mの緑道です。南北に細長い形状で、四季折々の花木と風景を楽しみながら歩くことができます。地域の人々の憩いとコミュニケーションの場として利用されています。



しょうりんじ

## 照林寺

金光山照林寺と号し、宗派は時宗で、開祖は一遍上人です。本尊は釈迦如来坐像です。棟札によると、本堂は元禄7(1694)年の再建で、寄棟造り・しころ葺きの形式です。堺には、時宗の寺院がこの照林寺と永福寺の二つしかない、大変珍しい宗派の寺院です。



おおいけこうえん

## 大池公園

昭和61(1986)年に開設した近隣公園で、面積は約2.3haです。災害時の一時避難地としての機能を有しています。敷地内には「この公園は、元大池と称し灌漑用溜池として、永年小寺地域を潤してきたが時代の進展により集いの場となる。」と記された石碑があります。大池の周囲にある園路沿いには桜が植樹されています。





# 平尾地区のまち歩き魅力発見マップ

ひらきじんじゃあと

## 平喜神社跡

平喜神社では広国押武金日命が祀られていましたが、菅生神社に合祀された後、跡地は平尾村立小学校になりました。小学校が現在の場所へ移転した後は住宅地になり、神社跡には石碑が建立されています。

かつての小学校の校舎は木造2階建てで、坂の上に門があり、門の手前には半鐘がありました。



しょうねんじ

## 正念寺

宝林山正念寺と号し、宗派は融通念仏宗です。境内のお堂には、「平尾薬師」と呼ばれる青銅製の薬師如来が祀られています。

この薬師如来は、護国山東照寺普門院の本尊で、聖武天皇が行基に命じて刻ませたものと言われています。天正5(1577)年、護国山東照寺普門院が松永久秀によって焼かれた際に本尊だけが残り、正念寺に移されました。



ひらおえびすじんじゃあと

## 平尾恵比須神社跡

平喜神社が合祀される時、祀っていた恵比寿が落ちたことから、嫌がっているのここを祀ろうということになり、この地に祭ったという言い伝えがあります。旧美原高校付近にあった小塚を動かしたことで病気がけがが治ったことから、2つの石も合祀されていましたが、令和4年(2022年)、菅生神社に合祀され、跡地には石碑が建立されています。



せんみょうじ

## 専明寺

照林山専明寺と号し、宗派は浄土真宗本願寺派です。境内には親鸞聖人と中興の祖である蓮如上人の像が並んでいます。

本堂には、住職を送り迎えしたといわれるかごが往時を物語っています。

戦前戦後には、近所のこどもたちを預かり、寺子屋や保育所のような役割を果たしていました。



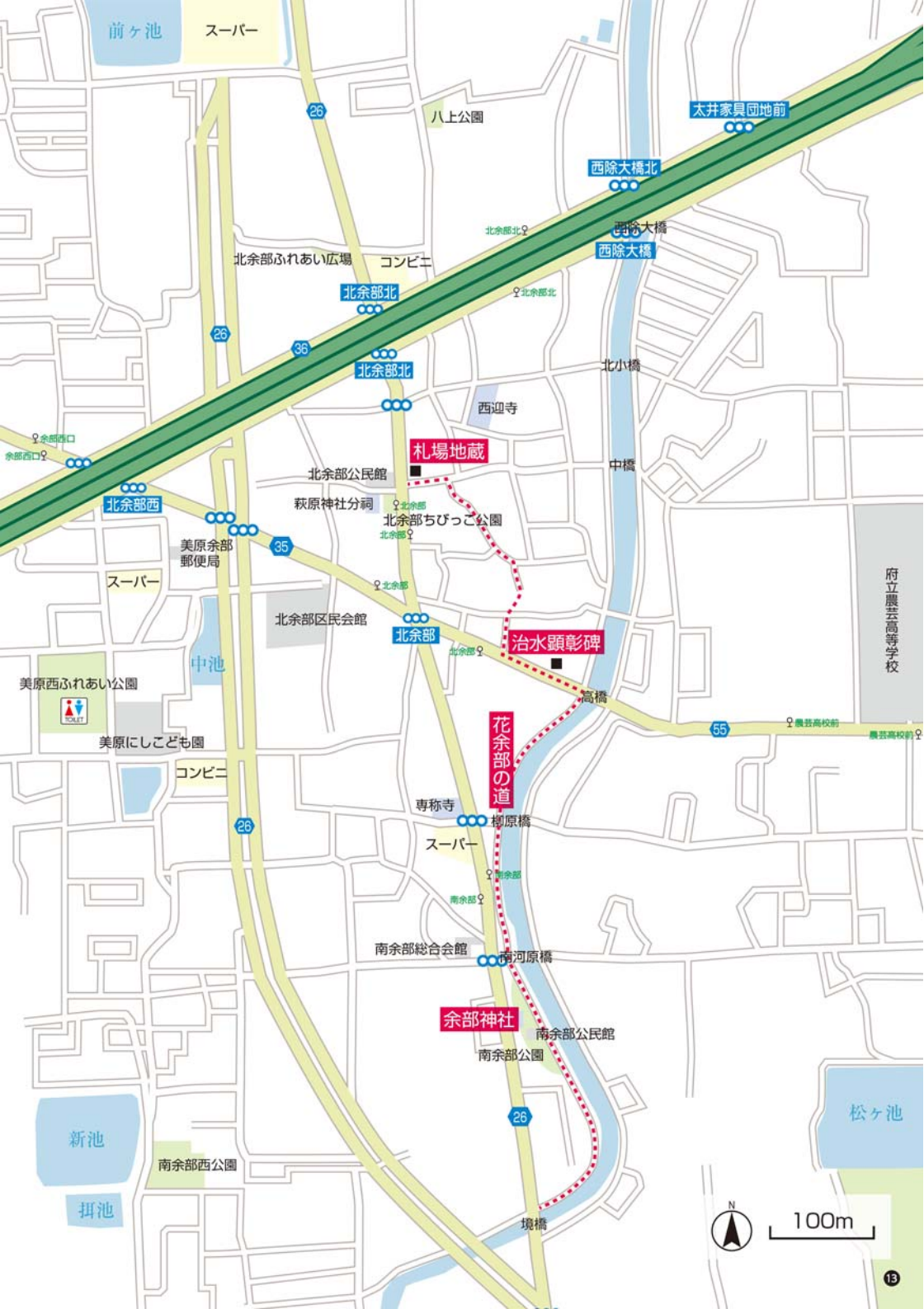
ぜんとくじ

## 善徳寺

青葉山善徳寺と号し、弘仁年間(810~824年)の伝教大師の創建と言われています。宗派は浄土真宗本願寺派で、本尊は阿弥陀如来です。南北朝時代に楠木正成の兵火にあって焼失し、明応4(1495)年に僧善祐が再建しました。境内には、楠木正勝と山名氏清が戦った「古戦場こわい塚」石碑が残されています。

本堂の瓦に、「瓦屋十兵衛 寛政11(1799)年」の記載があります。





前ヶ池 スーパー

太井家具団地前

八上公園

西除大橋北

西除大橋

北余部ふれあい広場 コンビニ

北余部北

北余部北

西迎寺

北小橋

余部西口

北余部西

北余部公民館

札場地蔵

美原余部郵便局

スーパー

萩原神社分祠

北余部ちびっこ公園

北余部区民会館

北余部

治水顕彰碑

美原西ふれあい公園

美原にしこども園

コンビニ

専称寺

花余部の道

スーパー

柳原橋

南余部総合会館

南河原橋

余部神社

南余部公民館

南余部公園

新池

南余部西公園

掛池

松ヶ池



100m

# 北余部・南余部地区のまち歩き魅力発見マップ

きたあまべ みなみあまべ ちめい  
**北余部・南余部の地名**

北余部・南余部は、もとは一つの村であったと考えられます。南北に分かれた時期は分かっていません。「河内国西琳寺縁起」の中に収められている「天平15(743)年帳」に「河内国丹比郡余戸郷」の記載があり、これが「あまべ村」の前身と考えられています。古代の律令制度の下では、50戸を一里として編成し、その残余が10戸以上あった場合、余戸里として独立させていました。



いとうしずお ふだばじぞう  
**伊東静雄と札幌地蔵**

伊東静雄は、明治39(1906)年に長崎県諫早市に生まれた詩人です。美原の菅生、北余部で疎開生活を送り、昭和24(1949)年に病で入院するまでの間、美原で18編の詩を残しました。

札幌地蔵は、当時の伊東の自宅近くにあった地蔵で、今も残っています。「夕映」という詩の中で、村の十字路とそのほとりの小さな石のほこら、幼子の様子が歌われています。



ちすいけんしょうひ  
**治水顕彰碑**

かつての西除川は、田畑の灌漑用水として大切な生活用水でした。こどもが泳いだり、魚を獲ったりした親しみのある川でもあり、コイ・フナ・エビ・シジミ貝・カラス貝など多くの魚介類が生息していたそうです。一方で、洪水もたびたび起こったことから、明治27(1894)年に堤防が建設されました。治水顕彰碑は、その功を讃えて大正2(1913)年に建立されたものです。



あまべじんじゃ  
**余部神社**

素戔鳴尊、誉田別命(応神天皇)を祀っています。元は南余部水無に鎮座していましたが、明治40(1907)年に菅生神社に合祀されました。以来、菅生神社の末社として存続しています。菅生地区にある菅生神社にも社が安置されています。小さな社ですが、元禄年間(1688~1704年)の建築様式を今に伝えています。



はなあまべ みち  
**花余部の道**

西除川の改修工事により、昭和63(1988)年度から整備が進められ、平成2(1990)年に完成しました。南余部の西除川左岸の堤防の上を赤レンガで舗装し、境橋から高橋までの約600mの遊歩道(緑道)です。

完成した当時の旧美原町の広報紙には、町の木である「クスノキ」や町の花「ツツジ」などの花木が植えられたことが記載されています。





丹南東

2

美原ロータリー

コンビニ

美原ロータリー南

丹南公園

丹上1号公園

丹上

美原丹上郵便局

法楽寺 丹上第二公民館  
丹上公民館

丹上公園

丹上宮前広場

■ 役行者のほくら

菅原神社

丹上東公園

36

JA大阪南丹南支店

真福寺

真福寺

真福寺公園前

櫛本神社

真福寺  
ちびっこ公園

文珠院

丹上

美原JCT前

真福寺公民館

奥ヶ池

横枕池

コンビニ

真福寺公園

白池

テニスコート



100m

# 丹上・真福寺地区のまち歩き魅力発見マップ

## たんじょうちく まちな 丹上地区の街並み

丹上地区は準工業地域で、美原の工業の中枢を担っている地域の一つです。

美原で初の土地区画整理事業が行われた地域でもあり、インターチェンジに近い土地を活かして整備されました。平成3(1991)年、丹上1号公園も整備され、桜の木の下に事業完成記念碑が建てられました。

## すがわらじんじゃ 菅原神社

学問の神様として菅原道真公を祀っています。

明治34(1901)年に丹比神社に合祀されましたが、現在は遥拝所として残されています。

境内には樹齢100年になる樹木も祭られています。地域の数少ない自然として、地元の方々に大切にされています。

## えんのぎょうじゃ 役行者のほこら

7世紀頃に葛城山を中心に活動したと言われる山岳修行者で、修験道の祖といわれている役行者を祀ったほこらです。役行者は山嶽仏教の本尊である蔵王権現を崇拝したと言われていますが、詳しいことは分かっていません。役行者に対して、光格天皇は寛政11(1799)年に「神変大菩薩」の諡号を贈っています。

地元の方々から大切にされているほこらです。

## いちのもとじんじゃ 櫟本神社

美原に三つある延喜式内社のうちの一つです。瑞齒別皇子(後の反正天皇)が、この真福寺地区にあった櫟(イチイ)の大木を「丹比の櫟木」と名付けたことが神社の名前の由来と言われています。

明治40(1907)年に、丹比神社に合祀され、今はブロック塀に囲まれています。南方90mには、石鳥居と「式内櫟本神社真福寺村」と刻まれた石碑があります。

## もんじゅいん 文珠院

興正山文珠院と号し、宗派は融通念仏宗です。元亨年間(1321～1324年)に法明上人の創建と伝えられています。

昔、真福寺という寺院があったと言われています。真福寺は、明徳年間(1390～1394年)の畠山基国と楠木両軍の合戦で焼失しましたが、文殊菩薩が描かれた画像だけが難を逃れ、納められたことが寺名の由来と言われています。





# 多治井地区のまち歩き魅力発見マップ

たんびじんしゃ

## 丹比神社

美原区に三つある延喜式内社の一つで、この地を本拠地とした丹比連の祖と伝えられる火明命を祀っています。

境内にある井戸の水は反正天皇の産湯に使われたと伝えられています。その時、産湯の中にタチ(いたどり)の花がこぼれ散ったため、この地をタチヒ野と呼ぶことになったそうです。「夜泣き石」や樹齢1,000年を超えると言われるクスノキもあります。

たんびはいじとうあと

## 丹比廃寺塔跡(大阪府指定史跡)

白鳳時代に建立された寺院で、現地には塔の基壇のみが残っています。出土した瓦から7世紀後半頃に建立されたと考えられます。発掘調査によって、この基壇は、土を固く叩き締めることで盛土する版築という技術で作られていることがわかりました。平安時代に空海がこの地に徳泉寺を建立しましたが、現在はその寺も残っていません。

まんどくじ

## 満徳寺

恵日山満徳寺と号し、宗派は高野山真言宗です。本尊は大日如来像です。

満徳寺は弘法大師が開いた徳泉寺の小院の一つだったそうです。徳泉寺は、火事で焼失し、その後は再建されませんでした。火事の時に本殿にあった傘などが満徳寺に運ばれました。運ばれた傘などは、現在も満徳寺で大切に保管されているそうです。

ひがしよけがわりょくどう

## 東除川緑道

東除川の西側の堤防沿いにある、長さ約700m、幅3mのレンガ敷の歩道です。鋳物の梵鐘の一部や鋳物のモニュメント板、花壇、小公園、屋根付きベンチなどがあります。

東除川は、土地への侵食作用が活発で、段丘面を深く切り込んで流れるため、川から兩岸の田畑に直接水を引くことができませんでした。

くろやまはいじ

## 黒山廃寺

現在の聖福寺一帯が黒山廃寺です。発掘調査で大量の瓦や金銅製の仏像の破片などが出土し、7世紀後半頃この付近に寺院が建立されたことがわかりました。火災で焼失した後に再建されましたが、再び火災に遭い廃絶したようで、寺院の建物の正確な位置はわかっていません。

